

令和4年度のシティプロモーションの主な取組

1 SNS

すいたん SNS のアカウントを多くの人に知ってもらうため、企画の充実を図るとともに、市の魅力や市政情報を親しみやすく伝えるための投稿を実施した。

- (1) 「吹田の主婦」とのコラボ企画などの投稿。(参照：参考資料)
- (2) 動画「すいたんチャレンジ」(イベント出演の様子や、吹田くわいのPR)の投稿やTwitterのアンケート機能を活用した投稿など。

2 各部連携事業

シティプロモーション推進室と各室課がシティプロモーションの観点から連携して事業を実施し、各部で抱える課題の解決を図った。

令和4年度の主な取組は以下のとおり。

	連携室課	内容
1	子育て政策室、健康まちづくり室、母子保健課	<p>【子育て世代に向けた PR】</p> <p>①SDGs トレインポスターでの PR 阪急電車の SDGs トレインの車内でポスターを掲示。(R5 年 1~3 月)</p>  <p>②子育て情報の発信 様々な室課に分かれている子育て支援施策をまとめて情報発信(現在調整中)</p> 

	連携室課	内容
2	地域経済振興室	<p>【駅デジタルサイネージでのPR】</p> <p>JR 京都線の主要駅となる大阪駅、京都駅、新大阪駅の複数のデジタルサイネージにおいて、キャッシュレス決済キャンペーンの周知とともに、市の魅力のPRを実施。(R3年10～12月)</p> 
3	選挙管理委員会事務局	<p>【投票済証のリニューアル】</p> <ul style="list-style-type: none"> 投票済証のデザインを、目を惹きやすいものに変更。多くの投票所で、従来の投票済証より持ち帰りが多くなった。SNSへの投稿も確認された。(R4年7月参院選) R5年4月の統一地方選挙(知事及び府議、市長及び市議)の投票済証のデザインの方向性についても、連携して検討。 
4	市民課	<p>【いい夫婦の日】</p> <p>いい夫婦の日(11月22日)に、婚姻届を提出される市民の方を対象に、アニバーサリーフォトブースの設置や結婚を祝福する動画の上映、バラの花を1本プレゼントする演出などを実施。</p> 

3 第1回すいたフェスタの開催

(1) 日時・場所

令和4年(2022年)9月4日(日曜)11時~20時30分
万博記念公園 お祭り広場、上の広場、下の広場

(2) 内容

スプラッシュパーティー、学生ステージ企画イベント、音楽&パフォーマンス、スカイランタンナイト等、様々な企画が実施された。

(3) 参加者

来場17,168人、協賛486社(延べ件数)



4 大学連携

(1) 下水道プロジェクト(大阪学院大学)

令和3年度のPBL型授業にて、下水道部の課題(多くの人に知ってもらえる広報)に対し「SNSによる広報」を提案した学生と下水道部水再生室職員が連携し、令和4年度から下水道に関する情報発信プロジェクトを開始。YouTube・TikTokにてショート動画を20本投稿。今月7日(火)に「下水道プロジェクト」発表会を実施。



(2) すいたんのコスチュームデザイン制作（大阪成蹊大学）

芸術学部イラストレーション・美術コースとPBL型授業を実施。シティプロモーション推進室からの課題ですいたんの新コスチュームデザインを制作、発表。

近日中に、全てのコスチュームが納品予定のため、完成品はすいたん SNS でお披露目予定。



5 研修

(1) シティプロモーション研修

【講師】河井孝仁氏（東海大学文学部広報メディア学科教授）

【内容】シティプロモーションの意義、効果的な進め方

【参加者】118人（各室課管理職1名以上、新規採用職員、希望者）

(2) 動画作成研修

【講師】佐久間智之 PRDESIGN JAPAN（株）代表取締役

【内容】動画作成のノウハウ

【参加者】71人（希望者）

6 NTT西日本×吹田市「公民共創ワーキンググループ」

NTT西日本との「ICTを活用したシティプロモーション推進に関する連携協定」に基づき、NTT西日本や民間事業者とともに、希望室課の職員でデザインシンキングプログラム「公民共創ワーキング」を実施。

同プログラムでは、5月以降、月1回程度ワークを行い、ICTを活用した社会課題の解決案や社会実装サービスの企画案の検討を行っているところ。



7 公共施設センスアップ

シティプロモーションビジョンでは本市の強みとして、「景観に配慮されたまち」を掲げていることから、老朽化した公共施設を美装化し新たな魅力を創出することを目的に、「阪急吹田駅前西第一自転車駐車場」について、緑化を組み合わせた美装化を実施（令和5年3月末完成予定）。



(完成イメージ図)